熊本市立総合ビジネス専門学校 キャリア創造学科

令和９年度（2027 年度）

募 集 要 項

受験生のみなさまへ	
① 募集要項および各種様式は本校ホームページにも掲載しております。 ご活用ください。	【　学校 HP　】
② 本校への出願をご希望の方は、出願前登録が必要です。 出願前登録が完了していない場合は、出願手続きに進むことができませんので、あらかじめご登録をお願いいたします。	【　出願前登録　】

令和９年度　キャリア創造学科（昼間:専門課程）入試募集要項

本校の特色　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

令和９年度教育方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２～３

キャリア創造学科（昼間:専門課程）募集概要

　出願資格等・出願種類及び要件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

　試験日程・出願から結果通知まで　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

　資格・検定試験の単位認定について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

出願種類

　【学校推薦型選抜】　■ 市立高校推薦　■ 指定校推薦　■校長推薦 ・・・・・・・・・・・・・　7

　【総合型選抜】　■ 自己推薦Ⅰ（資格実績）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

　■ 自己推薦Ⅱ（活動実績）、自己推薦Ⅱ（活動実績）の条件について ・・　8

　■ 自己推薦Ⅲ（学業実績）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

　【一般選抜】　■ 一般選抜　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

　【特別選抜】　■ 特別選抜Ⅰ（社会人）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

　■ 特別選抜Ⅱ（外国人留学生）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

　プレゼンテーション資料について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

様式第２号　入学願

様式第４号　推薦書　・・・・・・・・・・・・・・・・　市立高校推薦・指定校推薦・校長推薦用

様式第５号　自己推薦書（資格実績）　・・・・・・・　自己推薦Ⅰ（資格実績）用

様式第６号　自己推薦書（活動実績）　・・・・・・・　自己推薦Ⅱ（活動実績）用

様式第７号　自己推薦書（学業実績）　・・・・・・・　自己推薦Ⅲ（学業実績）用

様式第８号　単位認定申請書　・・・・・・・・・・・・・　市立高校推薦（希望者）・自己推薦Ⅰ（資格実績）用

別紙　合格証等貼付用紙　・・・・・・・・・・・・・・　市立高校推薦（希望者）・自己推薦Ⅰ（資格実績）用

本校の特色

(1) ○○コースがない

専門学校は職業に直結した実務的な教育を行うことが魅力のひとつであり、専門的な職業人を育成することを目的に、□□学科○○コースのように具体的な職業を目指す学科・コース名を示すのが一般的です。(例えば自動車整備科、ヘアデザインコース、トリマー専攻など)

しかし本校は具体的な職業名をつけず、「キャリア創造学科」という学科名しか示していません。それは学生の皆さんが「自分のキャリアを２年間で自ら創り出していく」ことができるようにするためです。

つまり、自分が学びたいこと、将来就きたい職業、取得したい資格などによって、自分で多くの選択肢の中から科目を選択し、自分だけのコースを創ることができるのです。それが本校が○○コースを作っていない理由です。

(2) 多様な学習分野から科目を選択する

本校はビジネス系（商業実務）の専門学校です。大別すると学習分野は「起業家」「簿記会計」「情報」「Web/Media」「観光サービス」「大学編入学」「その他」に分けられます。

分　野	科目例（一部）　※正式な科目名ではありません。
起　業　家	アントレプレナーシップ入門、起業演習、マーケティング、ビジネスプランニング 等
簿　記　会　計	商業簿記、工業簿記、建設業簿記、所得税法、消費税法、法人税法、会計ビジネスゲーム 等
情　報	情報技術基礎・応用、プログラミング基礎・応用（Java・Python）、オフィス基礎・応用 等
Ｗｅｂ／Ｍｅｄｉａ	ウェブデザイン基礎・応用、ＳＮＳ活用、動画制作演習、デジタルデザイン、AI 活用 等
観光サービス	ホテル総論、おもてなし英語、熊本城学、日本文化演習 等
大学編入学	英語、小論文、プレゼンテーション、面接対策
そ　の　他	サービス接遇、医療事務、ＦＰ入門、韓国語、中国語、ビジネス英語、ドローン演習 等

(3) 自分だけのコースを創る

開設科目には、共通科目（全員が履修）と選択科目（各自が選択）があります。各学年で履修する科目だけでなく、１・２年生が一緒に受講する合同履修科目もあります。

開講時期は、通年（１年間)、前期のみ、後期のみの３種類があり、前期・後期を連続して履修する科目もあります。(シラバスに記載)

本校ではコースの中で決められた科目を学ぶのではなく、学生自身が自分の興味・関心や卒業後の進路に必要な学びを考え、自分だけのコースを創っていくことができます。例として次のようなイメージです。

【イメージ１】Aさん（ＩＴ関係の会社に就職したのち、将来はウェブ関係で起業したい。）
Web/Media 分野の科目７割＋起業家関係の科目３割を選択
【イメージ２】Bさん（地元のホテルスタッフになり、将来は観光関係で起業したい。）
簿記会計分野の科目５割＋ホテル・観光サービス分野３割＋その他の分野の科目２割を選択
【イメージ３】Cさん（会計事務所のスタッフになったのち、将来は税理士になりたい。）
簿記会計分野の科目７割＋情報分野の科目２割＋その他の分野の科目１割を選択
【イメージ４】Dさん（△△大学商学部の３年次に編入学したい。）
情報分野の科目４割＋簿記会計分野の科目４割＋大学編入学分野の科目２割を選択

(4) 起業家精神と起業家的資質・能力を身につける

本校は起業家教育を柱としていますが、学生全員が卒業後すぐに起業家を目指すとは思っていません。(学生の大部分は企業に就職することを想定しています。）しかし起業しなくても、起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）を身につけ、起業家に必要とされる資質・能力を養成することは、未来を生きるすべての若者に必要な教育だと考えています。

ＡＩの進歩や戦争、感染症の拡大などの社会の急激な変化に対応することや、新しい価値を生み出し、イノベーションを起こすことが求められている今日、起業家精神と起業家的資質・能力を持つ人材が、熊本や日本の将来を切り開いていくのではないでしょうか。

皆さんには本校で先行きの不透明な時代をたくましく生き抜く力を身につけて欲しいと願っています。

令和９年度教育方針

本校ホームページ

１　本校の使命　・・・　本校ホームページに掲載しています。

２　目　　的　・・・　本校ホームページに掲載しています。

３　教育理念

本校は、学校としての使命を達成するために、次の教育理念に基づき教育を展開する。
教育理念「**起業家教育を柱に、新たな時代に対応したビジネス教育を行う。**」
この理念のもと、以下の方針に基づいて学生の育成を図る。

（1）**起業家精神と起業家的資質・能力の育成**

チャレンジ精神、創造性、探究心からなる起業家精神を育み、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力などの起業家的資質・能力を育成する。

これにより、ビジネスを通して地域の課題を主体的かつ継続的に解決し、新たな価値を創造する実践力を養う。

（2）**時代の変化に対応した専門的・実践的なビジネス教育の実施**

社会環境の変化や技術革新（イノベーション）に柔軟に対応し、ビジネスの実務に不可欠な専門知識と技能を修得させる。

デジタル化・グローバル化が進む現代において必要な能力を身につけ、自律的に学び成長し続ける力を育成する。

４　人材育成方針

本校は、地域社会の発展とビジネス分野における人材需要に応えるため、次のような資質・能力を備えた人材の育成を目指す。

（1）**起業家精神と起業家的資質を備え、地域の課題解決に挑戦できる人材**

チャレンジ精神、創造性、探究心からなる起業家精神を身につけるとともに、情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力などの起業家的資質・能力を発揮し、地域が抱えるさまざまな課題をビジネスの力で解決できる人材。

（2）**実践的・専門的な知識技能を基盤とし、新たな価値を創造できる人材**

ビジネス実務に必要な専門的かつ実践的な知識と技能を修得し、高い志と意欲をもって多様な他者と協働しながら、新しい価値やサービスを創出できる人材。

（3）**地域文化への理解とグローバルな視点を併せ持つ、人間性豊かな人材**

日本の文化や地域の特色への理解を深めるとともに、国際的な視野で物事をとらえ、多様な価値観を受け入れながら社会に貢献することができる豊かな人間性を備えた人材。

５　卒業認定・称号付与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本校は、人材育成方針に基づき、所定の授業科目を履修し、卒業に必要な単位を修得するとともに、専門学校での学びを通して必要な学修成果を収めた学生に対して、卒業を認定し、「専門士（商業実務専門課程）」の称号を付与する。

卒業までに身につけるべき学修成果は次のとおりである。

（1）**全員に共通する学修成果**

○起業に関する資質・能力

起業に関する専門的な知識、創造的な発想力、新たな挑戦に取り組む実行力を備え、将来の起業や事業創出に向けた基盤的能力を身につけている。

○情報活用能力とコミュニケーション能力

情報機器および各種ソフトウェアを適切に活用する技能を身につけ、他者と協働しながら課題を解決するための実践的なコミュニケーション能力を発揮できる。

○ビジネス実務に必要な総合的能力

情報収集・分析・発信に関する能力や、状況に応じて効果的に伝えるプレゼンテーション能力を適切に活用し、ビジネスシーンで実践的に活かすことができる。

(2) **履修内容に応じて身につく学修成果（例）**

学生が選択した科目分野および履修内容に応じ、次のような専門性を身につける。

○Web マーケティング・メディア制作分野

ウェブマーケターやメディアクリエイターに求められる IT スキルを習得し、デジタル技術をビジネスに応用できる。

○デジタルメディア分野

Web、CG、映像、音響等のメディアデザインに関する知識や技能を身につけ、デジタルメディアを用いたビジネス展開に活用できる。

○IT・資格取得分野

「IT パスポート」や「MOS」など資格取得に向けた学習を通じて獲得した知識・技能を、ビジネス実務の改善や業務効率化に活かすことができる。

○簿記・会計分野

「簿記検定」等の資格取得を通じて身につけた企業会計・税務に関する知識、経営分析能力をビジネスの意思決定に活用できる。

○観光サービス分野

観光ビジネスに関する専門知識や語学力を身につけ、観光関連業界でのサービス提供・企画提案に活用できる。

○SNS・情報発信分野

SNS に関する専門的な知識や技能を活かし、ビジネスにおける効果的な情報発信とブランド価値の向上に寄与することができる。

6　教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本校は、人材育成方針および卒業認定・称号付与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる知識・技能を学生が確実に修得できるよう、以下の方針に基づき教育課程を編成し、体系的に実施する。

(1) **学修区分の設定**

教育内容を「共通科目」「選択科目」の学修区分に整理し、学生が基礎から応用へと段階的に学修できるよう体系化する。

(2) **科目分野の体系化**

専門性の高い職業教育を提供するため、科目を以下の分野に分類し、領域横断的な能力の育成を図る。

起業家、Web／Media、観光サービス、情報、簿記会計、大学編入学

(3) **外国語学習および資格取得への対応**

職業的実践力の強化と学生の進路多様化に対応するため、外国語科目や資格取得に必要な科目を設置し、就業・進学に必要な能力育成を支援する。

(4) **授業実施方法の充実**

この教育課程に基づく授業が、学生一人一人の学修効果を最大化するよう、課題解決型学修や能動的参加型（アクティブ・ラーニング）による授業を積極的に取り入れる。また、学習状況や理解度に応じた丁寧な個別指導を行い、確かな学びの定着を図る。

(5) **バランスの取れたカリキュラム編成**

各学修区分・科目分野が偏りなく体系的に関連づけられ、学生が総合的かつ計画的に知識・技能を身につけられるよう教育課程を編成する。さらに、社会・産業界の動向や学生の学修成果を踏まえ、教育内容の継続的な改善を行う。

7　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本校は、人材育成方針に掲げる人物像を育成するために、次のような資質・意欲を有する入学者を求める。また、これらの資質を持つ学生を適正に選抜するため、多様な選抜方法を実施する。

(1) **基礎的な学力と基本的な思考力を備えた人**

高等学校等までの学習および諸活動を通じて、基礎的な学力を有し、課題に向き合うための思考力・判断力・表現力を身につけている人。

(2) **主体性と協働性を持ち、学びに積極的な人**

自ら学ぶ意欲をもち、主体的に行動できるとともに、多様な人々と協働して学ぶ姿勢を備えている人。

(3) **地域社会で活躍する意志と専門性向上への関心を持つ人**

ビジネス分野に関する専門的な知識・技能を身につけ、地域社会や将来の職業において主体的に活躍することを目指す人。

キャリア創造学科（昼間:専門課程）募集概要

1　出願資格等

出願資格	高等学校等を卒業（令和９年３月高等学校等を卒業見込みの者を含む）、または同等以上の学力を有する者 ※ 学校推薦型選抜、総合型選抜は、現役生（卒業見込み生徒）の専願に限る。
修業年限	２年
募集定員	キャリア創造学科　７０人　　※ 特別選抜Ⅰ（社会人）、特別選抜Ⅱ（外国人留学生）は若干名

2　出願種類及び要件

出願種類			要件	
学校推薦型選抜	市立高校推薦		専願	市立高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る）
	指定校推薦		専願	指定する在籍高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る） ※ 令和９年度（2027年度）の指定校については、７月以降に各高等学校の進路指導部（室）にて確認してください。
	校長推薦		専願	在籍高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る） 全体の学習成績の状況、評定平均値３．２以上
総合型選抜	自己推薦Ⅰ	資格実績	専願	指定した資格・検定試験（P６に掲載）を取得している生徒（現役生に限る） ※ 資格・検定試験は、令和６年４月１日以降に取得したものに限る。 ※ 合格した場合、単位認定申請書（様式第８号）で申請した資格・検定試験を技能資格として認定し、所定の単位数を進級要件の単位に算入することができる。（最大４単位） ※ 入試受験後に取得した資格・検定に関しては、別の出願種類でも後日申請することができる。
	自己推薦Ⅱ	活動実績	専願	生徒会活動、部活動、文化活動、国際交流、ボランティアについての活動実績がある生徒（現役生に限る） ※ 具体的な出願条件については、P8 を参照する。 ※ 活動実績は、高等学校在籍中に活動したものに限る。
	自己推薦Ⅲ	学業実績	専願	国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報のいずれかの学習成績の状況が３．５以上の生徒（現役生に限る）
一般選抜			併願可	高等学校等を卒業（令和９年３月高等学校等を卒業見込みの者を含む）、または同等以上の学力を有する者
特別選抜	特別選抜Ⅰ	社会人（若干名）	併願可	社会人としての経験を１年以上有し、令和９年４月１日現在で年齢満２１歳以上の者 ※ 社会人経歴は家事従事期間も含む。
	特別選抜Ⅱ	外国人留学生（若干名）	併願可	以下の１～５の条件をすべて満たす者 １　在留資格が「留学」である者 ２　年齢１８歳以上の者 ３　次のいずれかに該当する者 （1）外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者 （2）外国において、指定された 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 （3）高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者 ４　日本語能力に関して次のいずれかに該当する者 （1）外国人に対する日本語教育を行う教育機関で法務大臣が文部科学大臣の意見を聴いて告示をもって定めるものにおいて一年以上の日本語の教育を受けた者 （2）専修学校において教育を受けるに足りる日本語能力を試験により証明された者（注） （注）次のア・イのいずれかに該当する者 ア　公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（ＪＬＰＴ）のＮ２（２級）以上に合格した者 イ　独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語（読解、聴解及び聴読解の合計））の２００点以上を取得した者 ５　その他 入国管理局（出入国在留管理庁）の入管法審査基準に基づき、卒業後の就労ビザ取得に必要な本校での履修内容と、将来の就職先における職務内容との間に直接的な関連性を有する就職を強く希望する者。

3　試験日程

回	試験日	出願受付期間（必着）		試験名								
				学校推薦型選抜			総合型選抜			一般選抜	特別選抜	
				市立高校推薦	指定校推薦	校長推薦	自己推薦Ⅰ 資格実績	自己推薦Ⅱ 活動実績	自己推薦Ⅲ 学業実績		特別選抜Ⅰ 社会人	特別選抜Ⅱ 外国人留学生
1	2026年 10月10日(土)	開始	2026年10月 1日(木)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		終了	2026年10月 6日(火)									
2	2026年 11月 7日(土)	開始	2026年10月29日(木)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		終了	2026年11月 2日(月)									
3	2026年 11月28日(土)	開始	2026年11月19日(木)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		終了	2026年11月25日(水)									
4	2026年 12月19日(土)	開始	2026年12月10日(木)	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		終了	2026年12月15日(火)									
5	2027年 1月 9日(土)	開始	2026年12月23日(水)	－	－	－	－	－	－	●	－	－
		終了	2027年1月 6日(水)									
6	2027年 1月30日(土)	開始	2027年1月21日(木)	－	－	－	－	－	－	●	－	－
		終了	2027年1月26日(火)									
7	2027年 2月19日(金)	開始	2027年 2月10日(水)	－	－	－	－	－	－	●	－	－
		終了	2027年2月16日(火)									
8	2027年 3月16日(火)	開始	2027年 3月 5日(金)	－	－	－	－	－	－	●	－	－
		終了	2027年3月10日(水)									

※ 試験の実施の有無
○は必ず実施。●は出願種類によって、募集人員を充足した場合は試験を実施しない。詳しくはホームページで確認すること。

【　出願から結果通知まで　】

1　出願前登録について

出願される方は、必ず右のＱＲコードから出願前登録をお願いします。
①氏名、②ふりがな …… 変換できない文字は、簡易の文字を入力
③出願入試回 …… 受験予定の入試の回を入力
④出願種類 …… 試験名を入力　※ 数字「ⅠⅡⅢ」は「１２３」と入力
⑤在籍（卒業）校名 …… 高卒認定試験の場合は、「高卒認定試験合格」と入力
⑥連絡先（携帯電話） … 携帯電話がない場合は、緊急連絡先を入力
⑦メールアドレス …… 受付完了メール等で使用。卒業後も連絡がつくアドレスを入力

2　出願手続きについて

①出願書類	出願種類で異なります。ｐ７～１０で確認してください。
②考 査 料	普通為替証書 ５，２００円分　※「指定受取人おなまえ」の欄には記入しないでください。
③郵 送 料	「定形外郵便（１００g以内）」と「簡易書留」を合わせた料金分の切手５３０円分（結果通知用） ※ 郵便料改定の場合は本校ＨＰにてお知らせします。
出願方法	上記①②③を封筒【角形２号】に同封し、出願受付期間内に郵送（簡易書留）【必着】または本校窓口まで持参で出願してください。（窓口：午前９時～午後４時）

3　結果通知について

試験後１週間以内に合否通知を本人宛郵送　※合格通知に入学手続き案内を同封します。

4　出願確認事項

・出願前に必ず上記ＱＲコードから出願前登録を行ってください。
・出願受付期間：学校閉庁日及び学校休業日（土日、国民の祝日、年末年始）は、本校窓口での受付は行いません。持参の場合は平日・授業日のみの受付とします。
・出願書類受付後は、受験番号・試験日当日の日程等を、受付完了メールにて本人宛に送信します。試験日の前々日までに受付完了メールが届いていない場合は、前日に本校入試係に電話にて出願受付の確認を行ってください。
・受験票は、試験日当日、受付にて手交します。

資格・検定試験の単位認定について

本校では、高校在学時の学習成果を積極的に評価するため、「資格・検定試験」に合格した場合や、TOEIC®テスト等において一定以上の点数に到達した場合に、進級単位として認定します。また、専修学校設置基準第 11 条「専修学校の高等課程においては、教育上有益と認めるときは、専修学校の定めるところにより、生徒が行う高等学校又は中等教育学校の後期課程における科目の履修その他文部科学大臣が別に定める学修を、当該高等課程における授業科目の履修とみなすことができる。」に則り、皆さんが入学前に取り組んだ検定試験の合格などの成果を、本校の進級単位として認定しています。

指定された資格・検定試験に「合格」または「点数到達」している場合、下表記載の認定科目名、認定単位数で進級単位として認定します。

※入試受験後に取得した資格・検定に関しては、別の出願種類でも後日申請することができます。

資格・検定試験名	認定科目名	認定単位数
日本商工会議所主催 簿記検定試験 1 級 全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 上級	技能資格(簿記)	4
日本商工会議所主催 簿記検定試験 2 級 全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 1 級	技能資格(簿記)	2
全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 2 級 全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験 1 級	技能資格(簿記)	1
情報処理推進機構主催 基本情報技術者試験	技能資格(情報)	4
情報処理推進機構主催 IT パスポート試験 全国工業高等学校長協会主催 情報技術検定試験 1 級	技能資格(情報)	2
全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 ビジネス情報 1 級 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 プログラミング 1 級	技能資格(情報)	1
日本英語検定協会主催 実用英語技能検定 2 級以上 TOEIC L&R（625 点以上） その他 CEFR A2 以上	技能資格(英語)	4
日本英語検定協会主催 実用英語技能検定 準 2 級 TOEIC L&R（600 点以上） その他 CEFR A1	技能資格(英語)	2
全国商業高等学校協会主催 英語検定試験 1級	技能資格(英語)	1
実務技能検定協会主催 秘書技能検定試験 2 級以上 実務技能検定協会主催 サービス接遇実務検定試験 2 級以上	技能資格(ビジネス)	2
実務技能検定協会主催 秘書技能検定試験 3 級 実務技能検定協会主催 サービス接遇実務検定試験 3 級	技能資格(ビジネス)	1

出願種類

■ 市立高校推薦　【学校推薦型選抜】

出願資格	市立高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る）　**専願**
出願書類	① 入学願（4㎝×3㎝の写真貼付のこと、受験票を除く）（様式第2号） ② 推薦書（様式第4号） ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの） ④ 単位認定申請書（該当者のみ）（様式第8号）…　希望者は提出すること ⑤ 合格証等貼付用紙（該当者のみ）（別紙）…　希望者は提出すること
選考方法	書類審査
選考項目	入学願、成績証明書等（調査書含む）

■ 指定校推薦　【学校推薦型選抜】

出願資格	指定する在籍高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る） ※ 令和9年度（2027 年度）の指定校については、7月以降に各高等学校の進路指導部（室）にて確認してください。　**専願**
出願書類	① 入学願（4㎝×3㎝の写真貼付のこと、受験票を除く）（様式第2号） ② 推薦書（様式第4号） ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの）
選考方法	書類審査
選考項目	入学願、成績証明書等(調査書含む)

■ 校長推薦　【学校推薦型選抜】

出願資格	在籍高校の校長が推薦する生徒（現役生に限る） 全体の学習成績の状況、評定平均値3．2以上　**専願**
出願書類	① 入学願・受験票（4㎝×3㎝の写真貼付のこと）（様式第2号） ② 推薦書（様式第4号） ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの） ④ プレゼンテーション資料　･･･　プレゼンテーション資料について（P11 参照）
選考方法	書類審査及びプレゼンテーション面接
選考項目	入学願、成績証明書等（調査書含む）、プレゼンテーション面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

■ 自己推薦Ⅰ（資格実績）　【総合型選抜】

出願資格	指定した資格・検定試験（P６に掲載）を取得している生徒（現役生に限る） ※ 資格･検定試験は、令和6年4月1日以降に取得したものに限る。 ※ 自己推薦で合格した者は自己推薦書に記載した該当資格･検定取得に対して技能資格として認定し、所定の単位数を進級要件の単位に算入することができる。(最大4単位) ※入試受験後に取得した資格・検定に関しては、別の出願種類でも後日申請することができる。 **専願**
出願書類	① 入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ② 自己推薦書（資格実績）（様式第５号） ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの） ④ プレゼンテーション資料　･･･　プレゼンテーション資料について（P11 参照） ⑤ 単位認定申請書（様式第８号） ⑥ 合格証等貼付用紙（別紙）
選考方法	書類審査及びプレゼンテーション面接
選考項目	入学願、自己推薦書、成績証明書等（調査書含む）、プレゼンテーション面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

■ 自己推薦Ⅱ（活動実績）　【総合型選抜】

出願資格	生徒会活動、部活動、文化活動、国際交流、ボランティアについての詳細は、下表の出願条件をご覧ください。（現役生に限る） **専願**
出願書類	① 入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ② 自己推薦書（活動実績）（様式第６号）※ 活動を客観的に証明する資料があれば添付してください。 ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの） ④ プレゼンテーション資料　･･･　プレゼンテーション資料について（P11 参照）
選考方法	書類審査及びプレゼンテーション面接
選考項目	入学願、自己推薦書、成績証明書等（調査書含む）、プレゼンテーション面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

出願条件

区　　分	具体的な活動例	最低条件(いずれか)
生徒会活動	･生徒会執行部/役員 ･学校行事運営委員/実行委員 ･学校内自治活動に準ずる役割	①3 か月以上の継続的な関与 ②1 学期(学期単位)以上の活動 ③学校行事などで 3 回以上の運営参加
部　活　動	･運動部/文化部(公式部･同好会を含む)/学校外クラブ/団体(学校活動として説明できる場合) ･兼部/途中入退部も可(理由説明があれば可)	①3 か月以上の継続所属 ②週 1 回以上の活動を一定期間継続 ③大会･発表会等への参加を含む取組
文化活動	･美術/音楽/書道/演劇/文芸 ･コンクール、発表会、公募展、展示会	①コンクール／発表会等に 1 回以上参加 ②同一分野の取組を 3 か月以上継続
国際交流	･短期留学、海外研修 ･留学生との交流 ･オンライン国際交流 ･国際イベント参加	①国際交流体験延べ 3 日以上 ②交流活動 3 回以上 ③1 か月以上の継続的関与
ボランティア	･地域清掃、福祉、災害支援 ･学校/地域行事支援 ･NPO/自治体活動	①活動 3 回以上 ②10 時間以上の参加 ③3 か月以上の継続参加

■ 自己推薦Ⅲ(学業実績)　【総合型選抜】

出願資格	国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報のいずれかの学習成績の状況が ３．５以上の生徒（現役生に限る）　**専願**
出願書類	① 入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ② 自己推薦書（学業実績）（様式第７号） ③ 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの） ④ プレゼンテーション資料　･･･　プレゼンテーション資料について（P11 参照）
選考方法	書類審査及びプレゼンテーション面接
選考項目	入学願、自己推薦書、成績証明書等（調査書含む）、プレゼンテーション面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

■ 一般選抜

出願資格	高等学校等を卒業（令和９年３月高等学校等を卒業見込みの者を含む）、または同等以上の学力を有する者
出願書類	① 入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ② 成績証明書等（下の a～c のいずれか一つ） a 調査書（高校卒業または卒業見込みのもの） b 合格成績証明書（高卒認定者等） c 成績証明書（大学・短大等卒業または卒業見込みのもの）
選考方法	書類審査及び面接
選考項目	入学願、成績証明書等（調査書含む）、面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

■ 特別選抜Ⅰ（社会人）　【特別選抜】

出願資格	社会人としての経験を１年以上有し、令和９年４月１日現在で年齢満２１歳以上の者 ※ 社会人経歴は家事従事期間も含む。
出願書類	①入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ②履歴書（または職務経歴書等職歴がわかるもの、任意書式可）
選考方法	書類審査及び面接
選考項目	入学願、面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

■ 特別選抜Ⅱ（外国人留学生）　【特別選抜】

出願資格	以下の１～５の条件をすべて満たす者 １　在留資格が「留学」である者 ２　年齢１８歳以上の者 ３　次のいずれかに該当する者 （1）外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者 （2）外国において、指定された 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 （3）高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者 ４ 日本語能力に関して次のいずれかに該当する者 （1）外国人に対する日本語教育を行う教育機関で法務大臣が文部科学大臣の意見を聴いて告示をもって定めるものにおいて一年以上の日本語の教育を受けた者であること （2）専修学校において教育を受けるに足りる日本語能力を試験により証明された者(注)であること (注)次のア･イのいずれかに該当する者 ア　公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試(JLPT)のN2(2級)以上に合格した者 イ　独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験(日本語(読解、聴解及び聴読解の合計))の200点以上を取得した者 ５　その他 入国管理局（出入国在留管理庁）の入管法審査基準に基づき、卒業後の就労ビザ取得に必要な本校での履修内容と、将来の就職先における職務内容との間に直接的な関連性を有する就職を強く希望する者。
出願書類	① 入学願・受験票（４㎝×３㎝の写真貼付のこと）（様式第２号） ② パスポート（顔写真とパスポート番号のあるページ、有効期限のあるページ）のコピー ③ 在留カードのコピー（表と裏） ④ 住民票 ⑤ 国民健康保険証のコピー ⑥ 日本語教育機関の在学証明書または卒業（見込）証明書 ⑦ 日本語能力試験 N2 以上の合格証のコピー ⑧ 日本語教育機関の出席・成績証明書
選考方法	書類審査及び面接（日本語）
選考項目	入学願、面接
試験会場	本校（熊本市立総合ビジネス専門学校）

【学校推薦型選抜】校長推薦
【総合型選抜】自己推薦Ⅰ（資格実績）、自己推薦Ⅱ（活動実績）、自己推薦Ⅲ（学業実績）で出願される方は必ずお読みください。

プレゼンテーション資料について

<table>
<tr><td>概要</td><td colspan="4">・プレゼンテーション資料は電子データ・紙媒体どちらの形態でもよい。
・５分以内で発表できるものを作成する。
・電子データの場合、アニメーション等は入れず、スライド最大１５枚で作成する。
・自己紹介、自己 PR、入学後学びたい科目とその理由等を含んだものにすること。
・公募推薦の面接は、プレゼンテーション資料に沿って受験者が発表し、その後、発表した内容を中心に質疑応答を行う。全体で１５分程度の予定。
※ 夏のオープンキャンパス（全6回）でプレゼンテーション作成について説明予定。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">資料形態</td><td colspan="2">作成について</td><td>提出方法</td><td>発表方法</td></tr>
<tr><td>電子データ</td><td>PowerPoint、Keynote、スライド等ソフトウェアは指定しない</td><td>作成したものを PDF で提出</td><td>本校のノート PC またはタブレットを使用して発表</td></tr>
<tr><td>紙媒体</td><td>特に指定はない</td><td>作成したものを写真や PDF 等で提出</td><td>持参した紙媒体を使用して発表</td></tr>
<tr><td>提出先</td><td colspan="4">nyushi.kibs@kumamoto-kmm.ed.jp</td></tr>
<tr><td>提出期限</td><td colspan="4">出願受付期間内</td></tr>
<tr><td>注意事項</td><td colspan="4">・メールのタイトルは受験生の名前を入力すること。
（例）【プレゼン資料】総合太郎
・受験者本人のアカウントメールで送信すること。
・電子データを使用して発表する場合は、パソコン等の持参は不要。</td></tr>
</table>

【　記入上の注意　】

1　記入は、黒インクまたは黒ボールペンで記入すること。（消えるボールペン不可）
2　太線の枠の中のみ記入すること。
3　入学願（上段）と受験票（下段）は切り離さないこと。

様式第２号

令和９年度（2027年度）　熊本市立総合ビジネス専門学校　入学試験

入　学　願

受験番号 *1
記入しない

志願学科	キャリア創造学科	面接発表形態 ※いずれかに☑	写真 4cm×3cm 正面上半身脱帽 3か月以内撮影
出願種類 ※いずれかに☑	☐ 市立高校推薦　☐ 指定校推薦 ☐ 校長推薦　☑ 自己推薦Ⅰ（資格実績） ☐ 自己推薦Ⅱ（活動実績）　☐ 自己推薦Ⅲ（学業実績） ☐ 一般選抜 ☐ 特別選抜（社会人）　☐ 特別選抜（外国人留学生）	本校所有の ☐ ノートPC ☑ タブレット ☐ 紙媒体 ※ 校長推薦、自己推薦ⅠⅡⅢの出願者は必ず記入すること。	
ふりがな	そうごう　たろう		
氏名	総合　太郎		
生年月日 ※元号に☑	☐ 昭和　☑ 平成　00年　00月　00日生		
現住所	（〒 860 － 0079 ） 熊本市西区上熊本3丁目25番5号		
連絡先	本人携帯電話　000 （ 1234 ） 5678 緊急連絡先（保護者携帯等）　000 （ 9876 ） 5432 フリガナ（読み）　ピー　ユー　エス　アイ　ゼロ　イチ　アットマーク　シー　ドット　シー　オー　エム メールアドレス　busi01@c.com ※受付確認のメール配信に利用するため、事前に「kumamoto-kmm.ed.jp」からのメール受信ができるように設定すること。		
最終学歴 ※元号に☑ ※課程に☑ ※卒業・卒業見込の該当するものに☑	☐ 昭和 ☐ 平成　00年00月 ☑ 令和 学校名　熊本ビジネス高等学校 学科名　普通科/経済学部経済学科 コース名　地域探求コース ☑ 全日制　☐ 定時制　☐ 通信制 ☐ 卒業　☑ 卒業見込　☐ 修了　☐ 修了見込 ※ 高卒認定試験の場合は、学校名欄に「高卒認定試験合格」と記入すること。　※ 大学・短大は学部名も記載すること。		
志願理由	【　WORDで作成する場合　】 この欄はフォントサイズで１２ｐｔで、枠の業界３４mmです。 改行すると枠は拡大しますが、「入学願」「受験票」がＡ４サイズに入らなくなります。ご注意ください。 改行すると罫線が表示されるように設定しています。		

【記入上の注意】　＊1　太線の枠の中のみ記入すること。　「受験番号」欄には記入しないこと。
＊2　市立高校推薦、指定校推薦の出願者は、点線以下の「受験票」は作成不要。ただし切り離さないこと。

↑ 切り離さないこと ↑　　↑ 切り離さないこと ↑

令和９年度（2027年度）　熊本市立総合ビジネス専門学校　入学試験

受　験　票

受験番号 *1
記入しない

志願学科	キャリア創造学科	面接発表形態 ※いずれかに☑	写真 4cm×3cm 正面上半身脱帽 3か月以内撮影 ※市立高校推薦、指定校推薦は不要
出願種類 ※いずれかに☑	☐ 校長推薦　☑ 自己推薦Ⅰ（資格実績） ☐ 自己推薦Ⅱ（活動実績）　☐ 自己推薦Ⅲ（学業実績） ☐ 一般選抜 ☐ 特別選抜（社会人）　☐ 特別選抜（外国人留学生）	本校所有の ☐ ノートPC ☑ タブレット ☐ 紙媒体 ※ 校長推薦、自己推薦ⅠⅡⅢの出願者は必ず記入すること。	
ふりがな	そうごう　たろう		
氏名	総合　太郎		

※ 市立高校推薦、指定校推薦の出願者は、受験票の作成は不要ですが、
出願する際は「入学願」「受験票」を切り離さないでください。

(1) **受験番号 *1**
記入しない。

(2) **写真**
縦４cm×横３cm、正面上半身脱帽で、出願前３か月以内に撮影されたものを貼付すること。

(3) **出願種類**
いずれか一つを選択すること。

(4) **面接発表形態**
学校推薦型選抜（校長推薦）、総合型選抜（自己推薦ⅠⅡⅢ）の出願者は必ず記入すること。

(5) **氏名・ふりがな**
漢字は楷書で記入すること。

(6) **生年月日**
元号にチェックを入れること。

(7) **現住所**
マンション等建物名および部屋番号まで正確に記入すること。

(8) **本人携帯電話**
携帯電話を持っていない場合は、緊急連絡先のみ記入すること。

(9) **緊急連絡先**
本人以外で確実に連絡が取れる保護者携帯等の電話番号を記入すること。

(10) **メールアドレス**
入学願受付完了の連絡等で使用するので、受験者本人のものを記入すること。
事前に本校メール「kumamoto-kmm.ed.jp」が受信できるように設定しておくこと。

(11) **最終学歴**
元号、課程にはチェックマークを付けること。
卒業・卒業見込、修了・終了見込は該当するものにチェックマークを付けること。
高卒認定試験の場合は、学校名の欄に「高卒認定試験合格」と記入すること。
最終学歴が高等学校以外（大学、短大、専門学校等）の場合は、学科名の欄に「学部、学科」を記入すること。
コース名がある際は、記入すること。

(12) **志願理由**
なぜ本校キャリア創造学科を志望したのかを自分自身の言葉で記入すること。

様式第２号

令和９年度（2027 年度）　熊本市立総合ビジネス専門学校　入学試験

入　学　願

受験番号 *1

志願学科	キャリア創造学科	面接発表形態 ※ いずれかに☑	写真 4 ㎝×3 ㎝ 正面上半身脱帽 3 か月以内撮影
出願種類 ※ いずれかに☑	☐ 市立高校推薦　☐ 指定校推薦 ☐ 校長推薦　☐ 自己推薦Ⅰ（資格実績） ☐ 自己推薦Ⅱ（活動実績）　☐ 自己推薦Ⅲ（学業実績） ☐ 一般選抜 ☐ 特別選抜（社会人）　☐ 特別選抜（外国人留学生）	本校所有の ☐ ノートＰＣ ☐ タブレット ☐ 紙媒体 ※ 校長推薦、自己推薦ⅠⅡⅢの出願者は必ず記入すること。	
ふりがな			
氏名			

生年月日 ※ 元号に☑	☐ 昭和　☐ 平成	年　月　日生
現住所	（〒　　―　　）	

連絡先	本人携帯電話	（　　）
	緊急連絡先 （保護者携帯等）	（　　）
	フリガナ（読み）	
	メールアドレス	
	※受付確認のメール配信に利用するため、事前に「kumamoto-kmm.ed.jp」からのメール受信ができるように設定すること。	

最終学歴 ※ 元号に☑ ※ 課程に☑ ※ 卒業・卒業見込の該当するものに☑	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和 年　月	学校名	☐ 全日制 ☐ 定時制 ☐ 通信制	☐ 卒　業 ☐ 卒業見込 ☐ 修　了 ☐ 修了見込
		学科名		
		コース名		
	※ 高卒認定試験の場合は、学校名欄に「高卒認定試験合格」と記入すること。　※ 大学・短大は学部名も記載すること。			
志願理由				

【記入上の注意】
＊1　太線の枠の中のみ記入すること。　「受験番号」欄には記入しないこと。
＊2　市立高校推薦、指定校推薦の出願者は、点線以下の「受験票」は作成不要。ただし切り離さないこと。

←切り取り線

↑ 切り取らないこと ↑　　↑ 切り取らないこと ↑

令和９年度（2027 年度）　熊本市立総合ビジネス専門学校　入学試験

受　験　票

受験番号 *1

志願学科	キャリア創造学科	面接発表形態 ※いずれかに☑	写真 4 ㎝×3 ㎝ 正面上半身脱帽 3 か月以内撮影 ※市立高校推薦、指定校推薦は不要
出願種類 ※いずれかに☑	☐ 校長推薦　☐ 自己推薦Ⅰ（資格実績） ☐ 自己推薦Ⅱ（活動実績）　☐ 自己推薦Ⅲ（学業実績） ☐ 一般選抜 ☐ 特別選抜（社会人）　☐ 特別選抜（外国人留学生）	本校所有の ☐ ノートＰＣ ☐ タブレット ☐ 紙媒体 ※ 校長推薦、自己推薦ⅠⅡⅢの出願者は必ず記入すること。	
ふりがな			
氏名			

様式第４号　　【 市立高校推薦・指定校推薦・校長推薦用 】

推　薦　書

令和　　年　　月　　日

熊本市立総合ビジネス専門学校長　様

所在地

学校名

校長名　　印

下記の者は、学業・成績・人物ともに優れ貴校の志願者として適当と認め推薦いたします。

←切り取り線

出 願 種 類　　☐ 市立高校推薦　☐ 指定校推薦　☐ 校長推薦

※該当する出願種類に、☑をつけてください。

志願者氏名

生 年 月 日　　☐ 昭和　☐ 平成　　年　　月　　日　　生

※該当する元号に、☑をつけてください。

推 薦 理 由

様式第５号

【 自己推薦Ⅰ（資格実績）用 】

受験番号

※記入しないでください。

自 己 推 薦 書（資格実績）

氏 名

1　取得している資格・検定試験に〇を記入してください。（複数回答可）
※ただし認定される単位数は最大４単位までです。

取得	主催	資格･検定試験名	級
	日本商工会議所	簿記検定試験	1級
	全国経理教育協会	簿記能力検定試験	上級
	日本商工会議所	簿記検定試験	2級
	全国経理教育協会	簿記能力検定試験	1級
	全国経理教育協会	簿記能力検定試験	2級
	全国商業高等学校協会	簿記実務検定試験	1級
	情報処理推進機構	基本情報技術者試験	―
	情報処理推進機構	ITパスポート試験	―
	全国工業高等学校長協会	情報技術検定試験	1級

取得	主催	資格･検定試験名	級
	全国商業高等学校協会	情報処理検定試験	ビジネス情報1級
	全国商業高等学校協会	情報処理検定試験	プログラミング1級
	日本英語検定協会	実用英語技能検定	準2級以上
	国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC L&R	600点以上
	その他CEFR		A1以上
	全国商業高等学校協会	英語検定試験	1級
	実務技能検定協会	秘書技能検定試験	3級以上
	実務技能検定協会	サービス接遇実務検定試験	3級以上

2　資格・検定試験を取得するためにどのような取り組みをしたのかを具体的に記入してください。

3　その活動を通して成長したこと、学んだことを記入してください。

4　入学後、その活動をどのように本校で生かすかを記入してください。

←切り取り線

様式第６号　　【 自己推薦Ⅱ（活動実績）用 】

受験番号 [　　]
※記入しないでください。

自 己 推 薦 書（活動実績）

氏　名

1　活動実績として報告する活動に「〇」印を記入してください。（複数回答可）
※ ただし高等学校在学中の活動に限ります。

活動	要件となる区分	最低条件（いずれか）
	生徒会活動	・生徒会執行部/役員 ・学校行事運営委員/実行委員 ・学校内自治活動に準ずる役割
	部活動	・運動部/文化部(公式部・同好会を含む)/学校外クラブ/団体(学校活動として説明できる場合) ・兼部/途中入退部も可(理由説明があれば可)
	文化活動	・美術/音楽/書道/演劇/文芸 ・コンクール、発表会、公募展、展示会
	国際交流	・短期留学、海外研修 ・留学生との交流 ・オンライン国際交流 ・国際イベント参加
	ボランティア	・地域清掃、福祉、災害支援 ・学校/地域行事支援 ・NPO/自治体活動

←切り取り線

2　どのような活動だったかを具体的に記入してください。

3　その活動を通して成長したこと、学んだことを記入してください。

4　入学後、その活動をどのように本校で生かすかを記入してください。

様式第７号　　【 自己推薦Ⅲ（学業実績）用 】

受験番号 [　　]
※記入しないでください。

自 己 推 薦 書（学業実績）

氏　名

1　学業実績として申請する教科のいずれか一つに「○」印を記入してください。

教科	該当教科
	国　語
	地理歴史
	公　民
	数　学
	理　科
	外国語
	情　報

・自己推薦Ⅲ（学業実績）の出願資格は、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報のいずれかの学習成績の状況が３．５以上の生徒（現役生に限る）です。

・各教科の学習成績の状況については「調査書」で確認しますので、この自己推薦書に評定を記入する必要はありません。

【申請】
・複数教科で学習成績の状況が３．５以上であっても、申請する教科は１つだけです。以下２～４に記入する内容に関係しますので注意してください。

・以下２～４については、「○」印を記入した教科について記入してください。

←切り取り線

2　その教科で、どのように学習に取り組んだのか（頑張ったことなど）を具体的に記入してください。

3　その教科の中で、あなたが最も興味・関心を持った単元や題材（あるいは楽しく学べた内容）について、その理由も含めて具体的に記入してください。

4　その教科の学習を通して成長したことや学んだことを記入してください。

様式第８号　　【 市立高校推薦（希望者）、自己推薦Ⅰ（資格実績）用 】

受験番号 [　　]
※記入しないでください。

単 位 認 定 申 請 書

出願種類　□ 市立高校推薦　□ 自己推薦Ⅰ（資格実績）

※ 市立高校推薦の出願者のうち、
単位認定を希望する者のみ

氏　名 _____

単位認定の申請をする資格・検定試験に「〇」印を記入してください。（複数回答可）
※ ただし認定される単位数は最大４単位までです。

申請	資格･検定試験名	認定科目名	認定単位数
	日本商工会議所主催 簿記検定試験 １級	技能資格(簿記)	4
	全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 上級		
	日本商工会議所主催 簿記検定試験 ２級	技能資格(簿記)	2
	全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 １級		
	全国経理教育協会主催 簿記能力検定試験 ２級	技能資格(簿記)	1
	全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定試験 １級		
	情報処理推進機構主催 基本情報技術者試験	技能資格(情報)	4
	情報処理推進機構主催 IT パスポート試験	技能資格(情報)	2
	全国工業高等学校長協会主催 情報技術検定試験 １級		
	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 ビジネス情報 1級	技能資格(情報)	1
	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 プログラミング 1級		
	日本英語検定協会主催 実用英語技能検定 ２級以上	技能資格(英語)	4
	TOEIC L&R（625 点以上）		
	その他 CEFR A2 以上		
	日本英語検定協会主催 実用英語技能検定 準２級	技能資格(英語)	2
	TOEIC L&R（600 点以上）		
	その他 CEFR A1		
	全国商業高等学校協会主催 英語検定試験 1級	技能資格(英語)	1
	実務技能検定協会主催 秘書技能検定試験 ２級以上	技能資格（ビジネス）	2
	実務技能検定協会主催 サービス接遇実務検定試験 ２級以上		
	実務技能検定協会主催 秘書技能検定試験 ３級	技能資格（ビジネス）	1
	実務技能検定協会主催 サービス接遇実務検定試験 ３級		

←切り取り線

別紙　　【 市立高校推薦（希望者）・自己推薦Ⅰ（資格実績）用 】

受験番号

※記入しないでください。

合格証等貼付用紙

氏　名

資格・検定試験の合格証等（コピー可）が外れないように貼り付けてください。
複数ある場合は折り曲げ、重ねて貼ってください。１枚で不足する場合はコピーしてご使用ください。

←切り取り線

問い合わせ先

熊本市立総合ビジネス専門学校

〒860-0079　熊本県熊本市西区上熊本３丁目２５番５号

TEL:096-352-1768(代表)

Mail: nyushi.kibs@kumamoto-kmm.ed.jp

受付:9:00-16:00 月-金(土日祝は除く)